



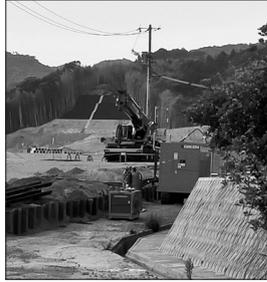
いくた まさよ  
生田 政代  
公明党  
(35分)

福山北産業団地第2期造成工事に伴う交通渋滞は

**問** 交通量調査の検証結果と対応は。

**答** 2019年実施の交通量調査のデータに、完成後に予想される交通量を加えた将来推計の結果、交差点処理容量は将来もなお基準内と確認したが、現在も朝夕は混雑している。

交差点の改良や信号表示の設定変更など、引き続き県や警察と協議する。



造成工事の様子

子宮頸がん予防ワクチン接種は

**問** 本年4月、国は、子宮頸がんなどの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を防ぐワクチンの積極的な接種勧奨を再開するよう自治体に通知したが、本市の周知方法は。

**答** 対象者に個別に勧奨再開を通知する。併せて、ワクチンの有効性等について啓発用リーフレットも同封することとしている。



のむらしずえ  
野村 志津江  
公明党  
(40分)

市民病院の周産期医療は

**問** ①どのような整備を考えているか。  
②総合周産期母子医療センターの指定は。

**答** ①新たに母体胎児集中治療室、新生児集中治療室、新生児回復室を整備するとともに人員確保や高度な新生児医療を行うことができる医療提供体制の整備を図る。

②周産期医療部門のハード整備が完了する2025年度末以降、実績を積み上げる中、早期の指定をめざす。

認知症施策は

**問** 認知症高齢者数と取り組みは。

**答** 本年4月末時点で約1万3600人と、高齢者全体の約10%、要介護・要支援者の約半分に相当する。認知症サポート養成講座の開催、認知症カフェの開設支援などのほか、福山市認知症ひとり歩きSOSネットワークを備後圏域で運用している。



マタニティマーク



さらがい くみこ  
皿谷 久美子  
公明党  
(40分)

男女共同参画は

**問** 国は、各自治体の地方防災会議の女性委員の比率を2020年までに30%にする目標を掲げたが、目標達成期限を2025年まで延長した。本市の現状は。

**答** 今年度の委員47名のうち女性は5名、割合は約10%である。委員の任命は、各関係機関に対し男女共同参画推進の観点から積極的な女性委員の推薦をお願いしている。

ばらのまち福山国際音楽祭2022は

**問** 成果と課題は。

**答** 3年ぶりの開催となったが、多くの来場者が国内外の演奏家の質の高いクラシック音楽を堪能した。一方、出演者の変更等によるチラシの配布などが遅れ、周知期間が短くなったことや、メイン会場周辺でのPRが十分でなかったことなどが課題である。



本市で開催された国際音楽祭